

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	通級指導教室推進事業			事業番号	09-105
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	教育部学校教育担当	濱田 保	教育指導課教育センター	須永 尚世	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち
		基本政策	3	人がつながり未来を拓く学び合うまちづくり
		施策展開の方向	5	子どもの生きる力をはぐむまちをつくる
		施策	9	きめ細やかな教育の推進
予算事業名	通級指導教室推進事業費			
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成2年度	～	終了年度
関連法令等	学校教育法施行規則第140条及び第141条			
国・県の計画等	教育振興基本計画(第2期計画)		計画期間	平成25年度～平成29年度
関連個別計画	伊勢原市第2期教育基本計画		計画期間	平成30年度～令和4年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	小学校の通常の学級に在籍する児童で、主に発達障害のある児童や言語障害のある児童の学びの場の1つとして通級による指導が有効です。また、通級による指導の効果が認められ、指導に対する理解が深まるにつれて、入級を希望する児童や保護者が増加しています。			
目的 (何をどうしたいのか)	通級指導教室「まなびの教室」「ことばの教室」を設置することで、集団への適応や言葉の発達に課題のある児童の特性に応じた指導を行う支援体制の充実に取り組みます。			
主な対象 (誰・何を対象に)	通常の学級に在籍する児童で、通級による指導が必要な児童。			
事業内容 (手段、手法など)	・通級指導教室に通室しやすい環境を整えるため、該当児童の推移や設置校の教室の確保等、現状と課題について精査し、ことばの教室の本格的移設に向けた計画を進めていきます。			
事業行程	項目	年度		
		令和3年度	令和4年度	
	「まなびの教室」の設置	1校3教室	1校3教室	
	「ことばの教室」の設置	1校2教室	1校2教室	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度	
			令和3年度	令和4年度
	「まなびの教室」の受け入れ児童数	40人 (令和2年度)	40人	40人



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	通級指導教室の1校配置、複数校配置等、支援を必要とする児童が受け入れられる体制が整えられるように、今後の方向性について検討します。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	「まなびの教室」の設置	1校3教室	
	「ことばの教室」の設置	1校2教室	
実施した取組の内容	長寿命化計画を踏まえ、通級指導教室の1校配置、複数校配置等、支援を必要とする児童が受け入れられる体制が整えられるように、今後の方向性について検討しました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
			令和3年度
	「まなびの教室」の受け入れ児童数	40人 (令和2年度)	39人

コスト	年度	令和3年度 実績				令和4年度 実績				
	事業費合計 (a)	348	千円					千円		
	内訳	国県支出金 ①	0	千円				千円		
		地方債 ②	0	千円				千円		
		その他特財 ③	0	千円				千円		
		一般財源 (a)-①-②-③	348	千円				0 千円		
	国県支出金の内容									
	その他特財の内容	受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		前回の改定時期					
		その他								
	人件費	正規職員	0.19	人	1,554	千円		人		千円
		その他の職員	0	人	0	千円		人		千円
		人件費合計 (b)	0.19	人	1,554	千円		人		千円
	トータルコスト (a)+(b)		1,902	千円					0	千円
	単位当たりコスト	対象数	定義		通級延べ児童数		単位		単位	
		対象数			72	人				
総事業費 / 対象数				26,417	円					

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	今後、通級指導教室の教室数、複数校配置等、支援を必要とする児童の受け入れができる体制を整えられるように、今後の方向性について検討します。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	近年、近隣市では通級の利便性などから、複数校に通級指導教室を設置したり、対象を中学生に広げたりしています。本市においては、公共施設等総合管理計画や長寿命化計画等を踏まえ、今後通級教室への設置や対象の拡大などについて、検討していく必要があります。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	通級指導により、言葉の理解や表現が苦手な児童や集団行動やコミュニケーションが苦手な児童が、学校生活に適應することができるようになる等の改善が見られ、学校生活を円滑に送れるようになっています。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	児童の実態を的確に把握し、入退級の審査を行うことにより、支援の必要な児童を受け入れることができました。


 取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	今後、公共施設等総合管理計画や長寿命化計画等を踏まえ、通級指導教室に通室しやすい環境、該当児童の推移、設置校の教室の確保等、現状と課題について精査する必要があります。
令和4年度の取組方針		通級指導教室の教室数、複数校配置等、支援を必要とする児童の受け入れができる体制を整えられるように、今後の方向性について検討します。		
所管部長による総評		「まなびの教室」や「ことばの教室」の設置は、通常の学級に在籍する児童で、集団行動やコミュニケーション、言葉の理解や表現が苦手な児童が学校生活に適應することができるよう学ぶ場の1つとして有効です。引き続き教室環境の整備や受入れ体制の充実を図るよう努めてください。		